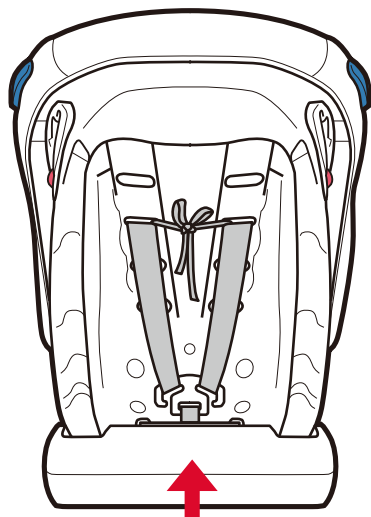




## クレイドル・オーカII



取扱説明書

この取扱説明書は、ここに保管してください

企画・販売



株式会社シーエー産商

本社 〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

<http://www.ca-sansho.co.jp/>

お客様相談窓口

●本製品に関するお問い合わせ(月曜日～金曜日※弊社休日は除く)

☎0120-034-017

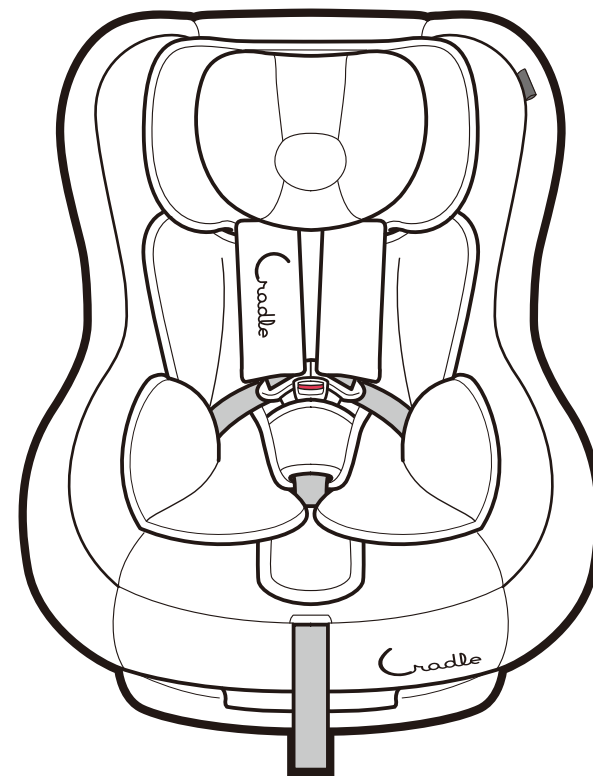
受付時間/AM10:00～12:00・PM1:00～5:00



# クレイドル・オーカII

## 取扱説明書/保証書

ご使用になる前に必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しくご使用ください。



※本書に使用しているイラストは、取り扱い方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

シートを傷めるおそれがあるため、**本革シートの車両**はそのまま取り付けしないでください。取り付ける場合は、保護シート等を敷いてからお取り付けください。(別売)

# ご使用になる前に

～安全のため必ずお読みください～

## 本装置について

- 本装置は、「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、安全規格(UN ECE R44/04)で試験を受け認可されており、一部を除きほとんどの車両に適合します。
- 車両の『取扱説明書』に、「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、本装置は正しく取り付けできます。
- 本装置は、3点式シートベルトを装備されている座席のみご使用できます。2点式シートベルトの座席にはご使用できません。
- チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子様の傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子様を無傷で守るものではありません。
- ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

## 目次

●ご使用になる前に	1
本装置について	1
ご利用にあたって	2
ご使用いただけるお子様の目安	2
●取り付け可能な車両のシートベルトと取り付け上の注意点	3
取り付けできる3点式シートベルト	3
取り付けできない座席	4
●安全にご使用いただくために	5
●各部の名称	9
●各部の使い方	11
バックル・タンクの使い方	11
リクライニングの調節	12
肩ベルトの長さ調節	13
肩ベルトの位置調節	14
●ベビーシート(後ろ向き)としての使い方	15
●チャイルドシート(前向き)としての使い方	19
●お子様の乗せ方・降ろし方	23
●お手入れのしかた	25
取り外し方／インナークッションの使用期間	25
取り付け方	27
●各部のお手入れ	29
●保証規定／保証書	30

## ご利用にあたって

### ●本書を読んでいただくためのポイントマークについて…

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。



**警告**

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがある事を記載しています。



**注意**

安全のため、ご注意ください。いただきたい事を記載しています。

**補足**

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。



図に表示している行為の禁止を示しています。

## ご使用いただけるお子様の目安

- 本装置は、お子様の年齢や体重により取り付け方が異なりますので、ご使用前にお子様にあった取り付け方を確認し、ご使用ください。

### ベビーシート

〈グループ0+〉

車両のシートベルトで本装置を固定、本装置のベルトでお子様を拘束します。

〈適応体重〉

**2.5kg以上13kg未満**

〈年齢の目安〉新生児～1歳頃  
〈身長の目安〉60～80cm未満

車両の進行方向に対し

**必ず後ろ向き**で

使用します。



### チャイルドシート

〈グループI〉

〈適応体重〉

**9kg以上18kg以下**

〈年齢の目安〉1歳頃～4歳頃  
〈身長の目安〉75～100cm未満

車両の進行方向に対し

**必ず前向き**で

使用します。



**警告**

お子様の体重が9kgを超えるまで、前向きではご使用いただけません。また、決して横向きや後ろ向きの座席には取り付けないでください。座らせた際に、頭頂部が本装置から出るお子様はご使用いただけません。

**補足**

「年齢・身長目安」は、あくまでも「目安」です。体重条件を満たしていないお子様はご使用いただけません。

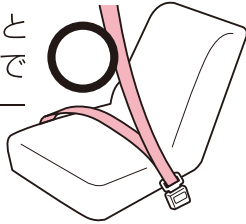
## 取り付け可能な車両のシートベルトと 取り付け上の注意点

必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。

2点式シートベルトの座席には、取り付けられません。

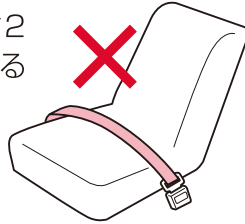
### 3点式シートベルト

腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で身体を支えるシートベルト。



### 2点式シートベルト

腰ベルトの左右2点で身体を支えるシートベルト。



## 取り付けできる3点式シートベルト

### ■ELR式シートベルト〈緊急ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

ゆっくり引き出すと自由に出入りしますが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。

### ■AELR式シートベルト〈チャイルドシート固定機能付シートベルト〉

すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。(シートベルトをすべて巻き戻すと解除される)

### ■NLR式シートベルト〈非ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

ロック機能がなく、すべて引き出して長さを調整するシートベルト。

### ■ALR式シートベルト〈自動ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

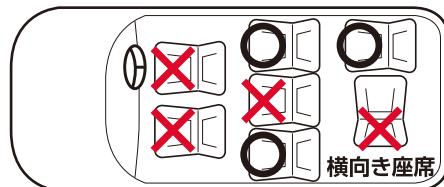
引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるシートベルト。

### ■マニュアル式シートベルト

巻き取り機能のない3点式シートベルト。

### 取り付け可能箇所

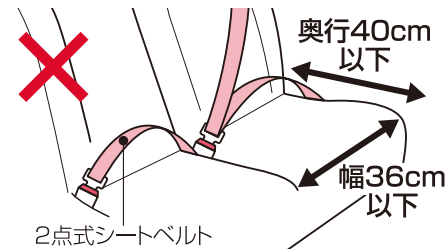
- 助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、後部左右座席に取り付けてください。
- 進行方向に対し、後ろ向き・横向き  
の座席には取り付けられません。



○取り付け可能 ×取り付け不可

## 取り付けできない座席

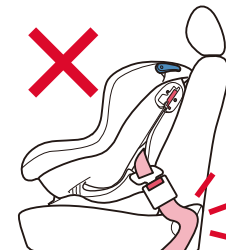
- シートベルトが装備されていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- シートベルトの全長が230cm以下の座席。
- 座面の奥行が40cm以下の座席。
- 座面の幅が36cm以下の座席。



- 助手席には決して取り付けないでください。
- エアバッグが装備されている座席。  
※サイドエアバッグのみの場合はご使用いただけます。
- 座席と本装置との間に大きな隙間ができる座席、または車両のヘッドレストによって固定が不安定になる座席。

※車両座席のヘッドレストを上下に調節したり外すことで取り付け可能になる場合があります。

- 受け側のバックルベルトが長い場合、車両のバックルやタンクが本装置とあたって、シートベルトが緩み、しっかり締め付けができない座席。



- 極端なバケットシート。座面・背面が極端に凹んだ座席。または座面の凹凸が大きく、不安定な座席。
- 横向きや後ろ向きの座席。
- 本装置を使用することにより、緊急時に車両から脱出する際、さまたげになる座席。
- 本装置の車両シートベルト通し穴よりも、車両のバックルが前に出ている座席。



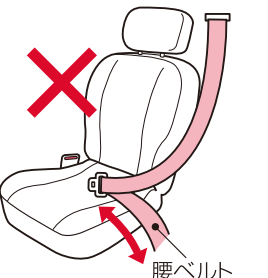
- 自動式ショルダーベルト(パッシブシートベルト)\*が、装備されている座席。

※ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト



- 腰ベルト、または肩ベルトがドアに取り付けられた座席。
- 腰ベルトにELR\*が装備されている座席。

※腰ベルトをゆっくり引くと自由に出入りし、衝撃を感知した際にロックするシートベルト



# 安全にご使用いただくために

## 警告

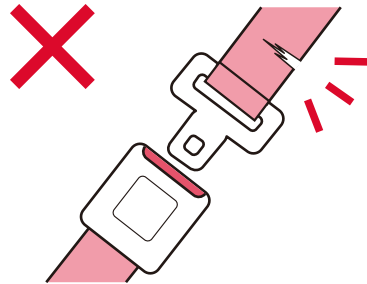
記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。

### 本装置は、安全な後部座席に取り付けてご使用ください。

- ※安全上、前座席にはご使用いただけません。
- ※お子様の体重が9kgを超えるまで、前向きではご使用いただけません。

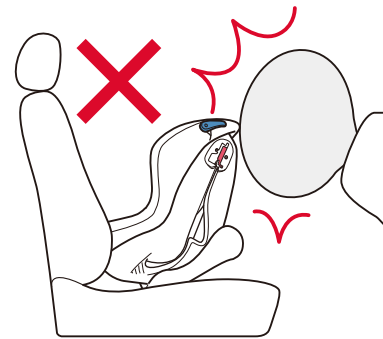
- 本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。
- 車両のシートベルトや座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。
- 本装置のベルトが緩んだ状態で使用しないでください。ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。

- 車両のシートベルトや本装置のベルトを傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。



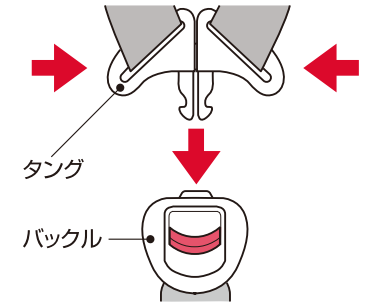
- お子様を本装置に乗せないとき、また車内に置いたまま運転される場合でも、必ず車両のシートベルトで固定してください。急ブレーキや衝突時、運転者や同乗者に傷害を及ぼすおそれがあります。
- お子様がバックルボタンを押してしまうおそれがありますので、時々タングがバックルから外れていないかを確認してください。

- エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。  
※サイドエアバッグのみの場合は、使用できます。

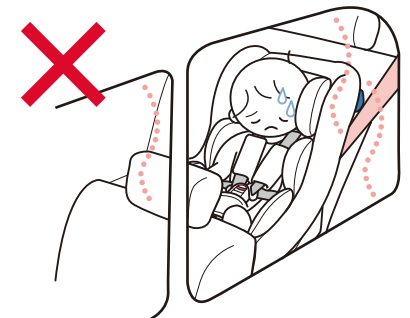


- お子様を本装置に乗せてセットする際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- 走行中にお子様の乗せ降ろし(乗り降り)や、本装置の調節等は絶対にしないでください。
- 本装置を取り付けた後に、車両の座席のリクライニング操作や移動をすると、取り付けが緩む場合がありますので、必ず取り付け状態を確認してください。

- 左右のタングをきちんと重ね合わせてから、バックルに差し込んでください。



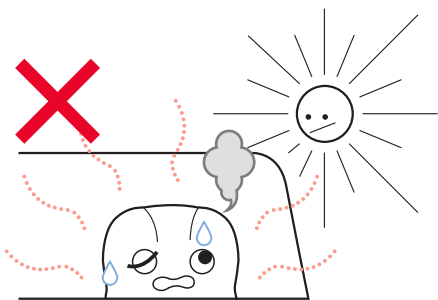
- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・付属金具等を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)
- お子様を本装置に乗せたまま、車内にひとりで放置しないでください。予期せぬ事故の原因となる場合がありますので、必ず保護者の方が同乗してください。



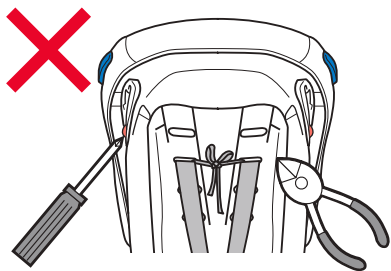
# 安全にご使用いただくために

## 警告

- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になります。



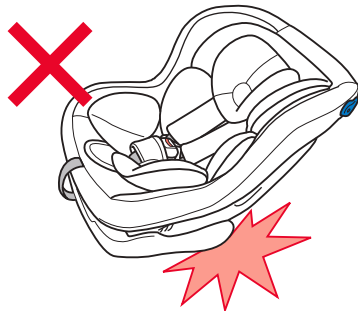
- 本装置を改造したり、部品を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)万一の場合、十分な機能を果たさなくなります。また、インナークッション等は純正のもの以外は使用しないでください。安全を損なうおそれがあります。



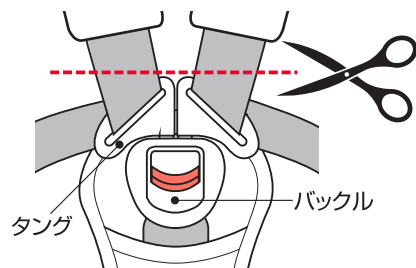
- お子様の負担を考え1時間以上連続して使用しないでください。

- 走行前に、本装置が正しく座席に取り付けられているか、取り付けが緩んでいないかを確認してからご使用ください。

- 衝突事故や本装置を落下させたときなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は外見上問題がなくても絶対に使用しないでください。



- 緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押しても、タングがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトをはさみ等で切ってお子様を降ろしてください。

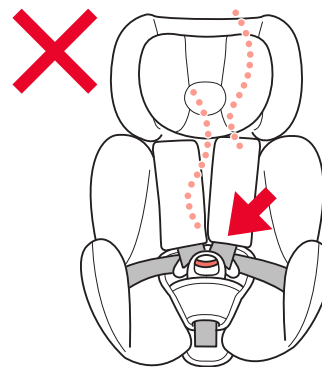
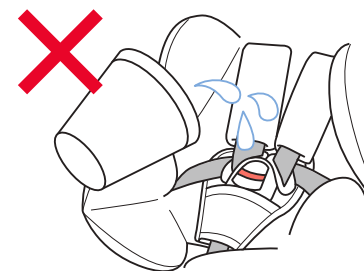


## 注意

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

- 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- 直射日光が当たったり、夏の日差しが強い日に車内に置いたままにすると、本装置のタングなどが熱くなって、お子様がやけどをするおそれがあります。日陰に駐車されるか、本装置にカバーをかけて保護してください。

- 本装置のバックルや可動部分に、水・ジュース等をかけないでください。部品の故障につながります。



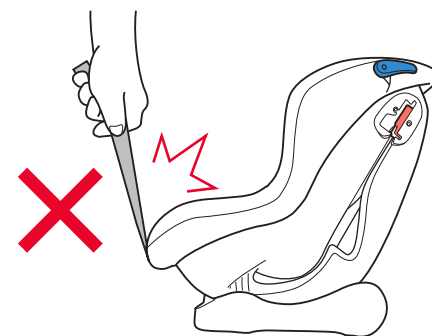
- 本装置を屋外・風雨にさらさないようにしてください。

- 車両の座席にクッションや座布団などを敷いたまま、取り付けしないでください。(保護シートは除く)

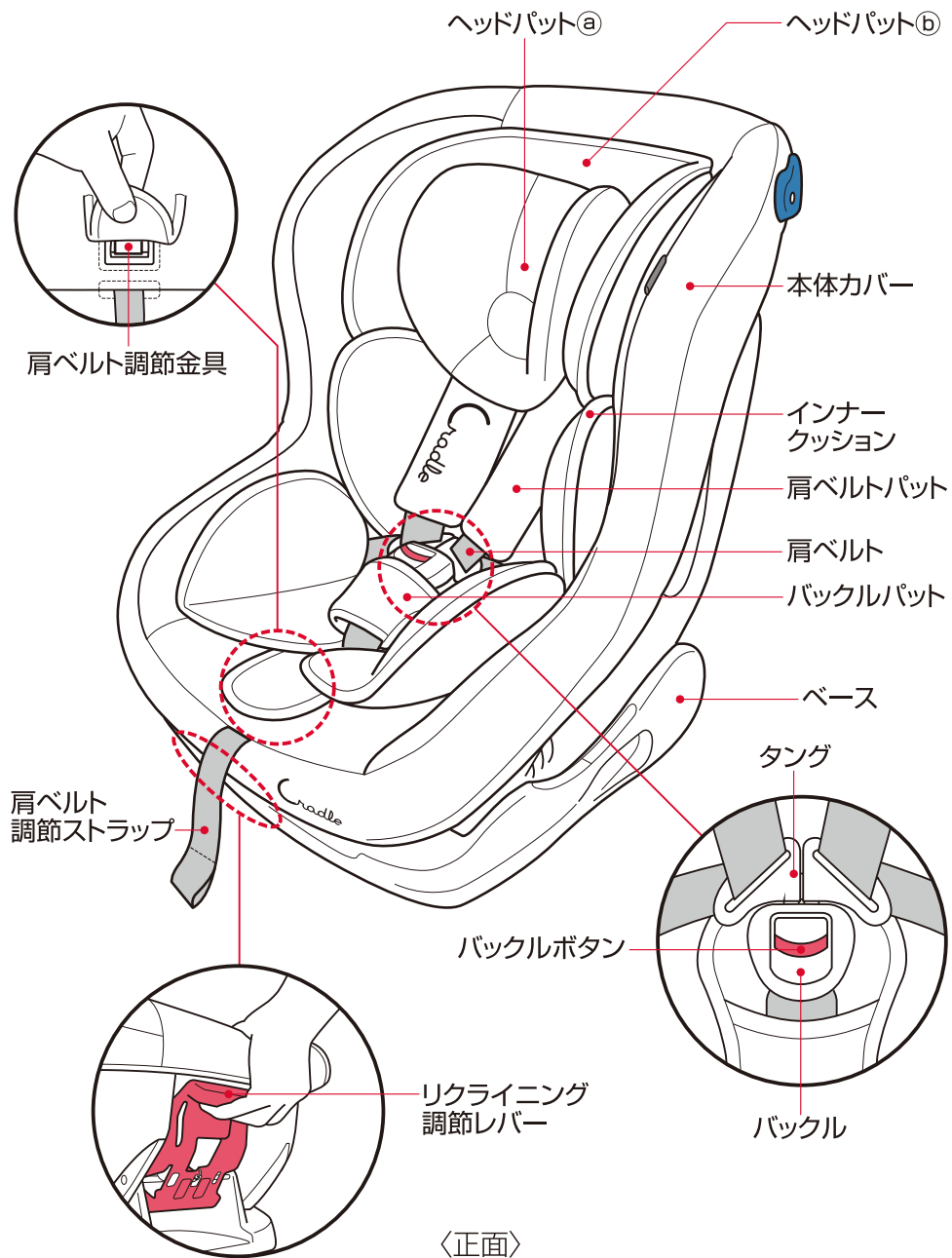
- 肩ベルト調節ストラップを上を引っぱると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

- 車両内に傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをする場合があります。

- 本装置を座席の可動部やドアに挟まないように注意してください。

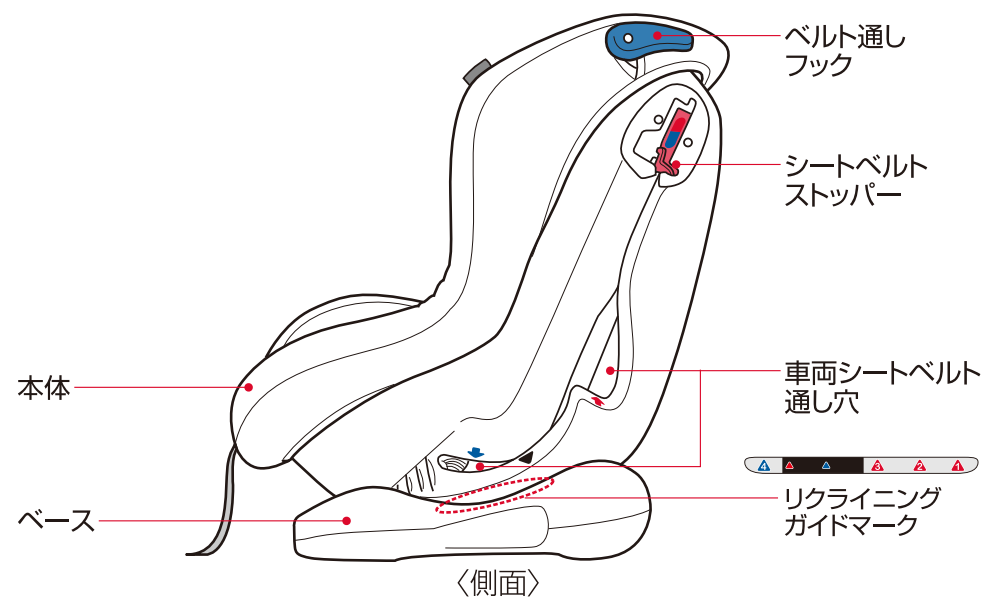


# 各部の名称

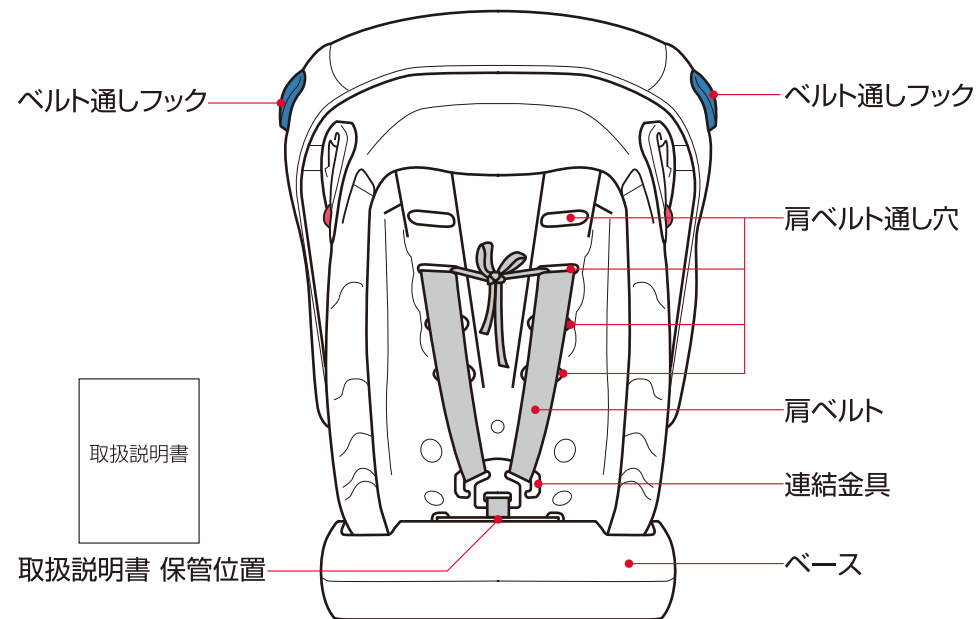


〈正面〉

9



〈側面〉



〈背面〉

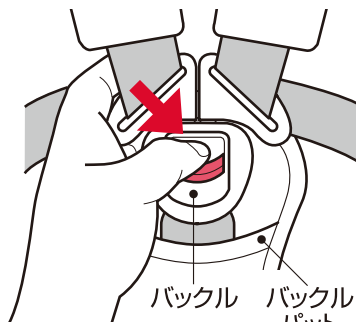
10

# 各部の使い方

## バックル・タングの使い方

1

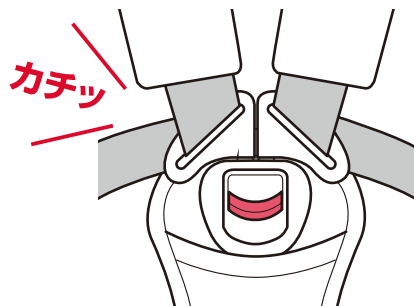
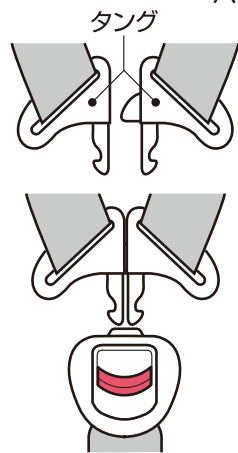
バックルパットを引き下げ、バックルボタン（赤いボタン）を下に押し、タングをバックルから解除し、お子様が座れるようにタングを左右に開き、バックルを前に倒します。



2

お子様を座らせ、左右の肩に肩ベルトを掛け、タングを合わせます。

タングをバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、バックルパットを引き上げます。



警告

バックルとタングをセットした際は、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



注意

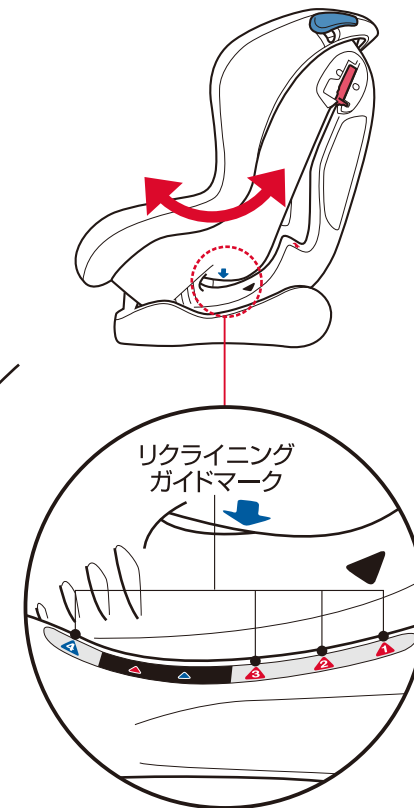
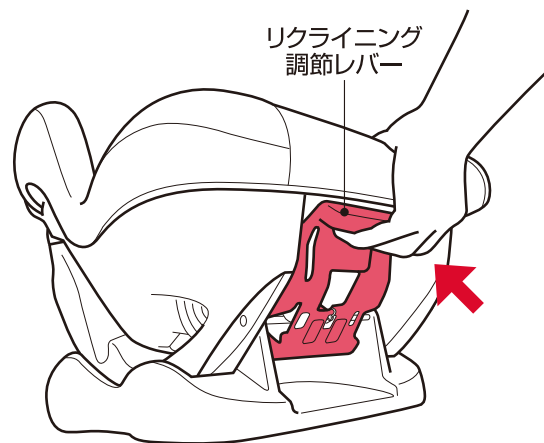
タングの接合部に強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。バックルに片方のタングのみを差し込まないでください。タングが抜けない場合があります。

補足

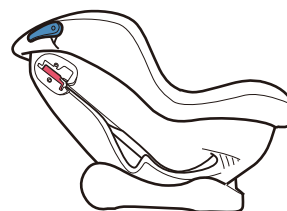
バックル内に飲み物や食べかす等が入ると、バックルの機能を損なうおそれがありますので、水分・ゴミは取り除いてください。

## リクライニングの調節

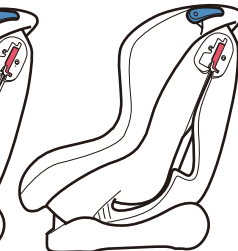
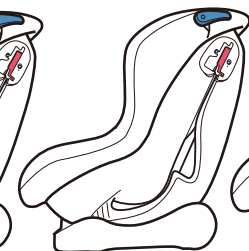
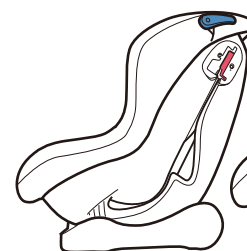
リクライニング調節レバーを持ち上げながら本体をスライドさせ、リクライニングガイドマーク（▲前向き3段階・▲後ろ向き1段階）を適正な位置に合わせます。リクライニング調節レバーを離すと本体が固定されます。



後ろ向き



前向き

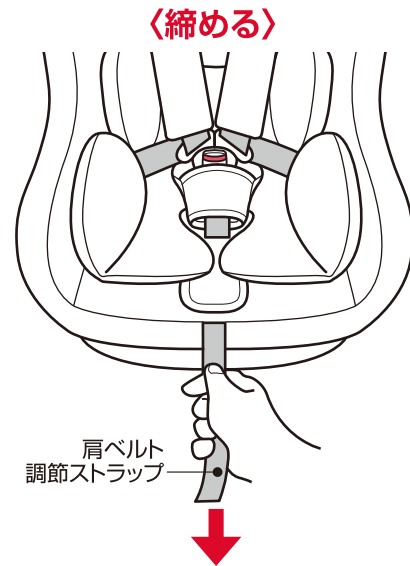


# 各部の使い方

## 肩ベルトの長さ調節

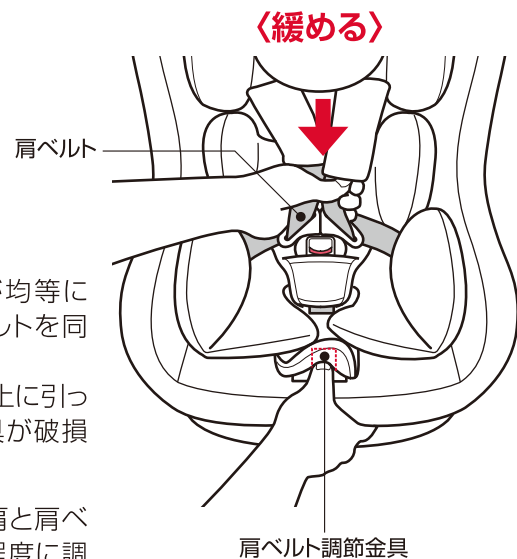
1

肩ベルトの調節は、肩ベルト調節ストラップを引くと締まり、肩ベルト調節金具を押しながら左右の肩ベルト（肩ベルトパットの下側）のみを持って手前に引くと緩みます。



2

肩ベルトの位置調節（右頁）ができましたら、肩ベルト調節ストラップを引っ張り、肩ベルトを締めて、お子様を拘束します。



注意

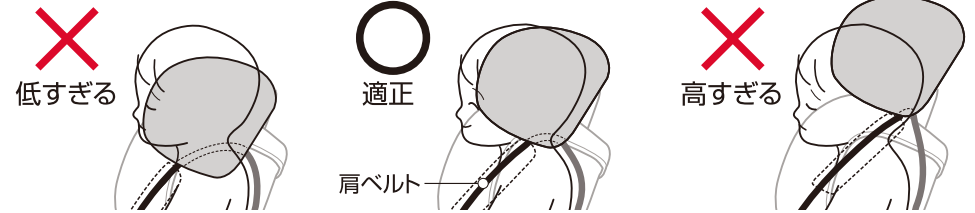
左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

補足

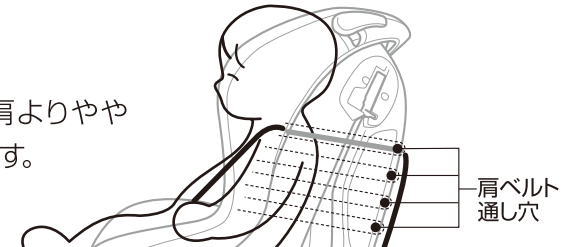
調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

## 肩ベルトの位置調節

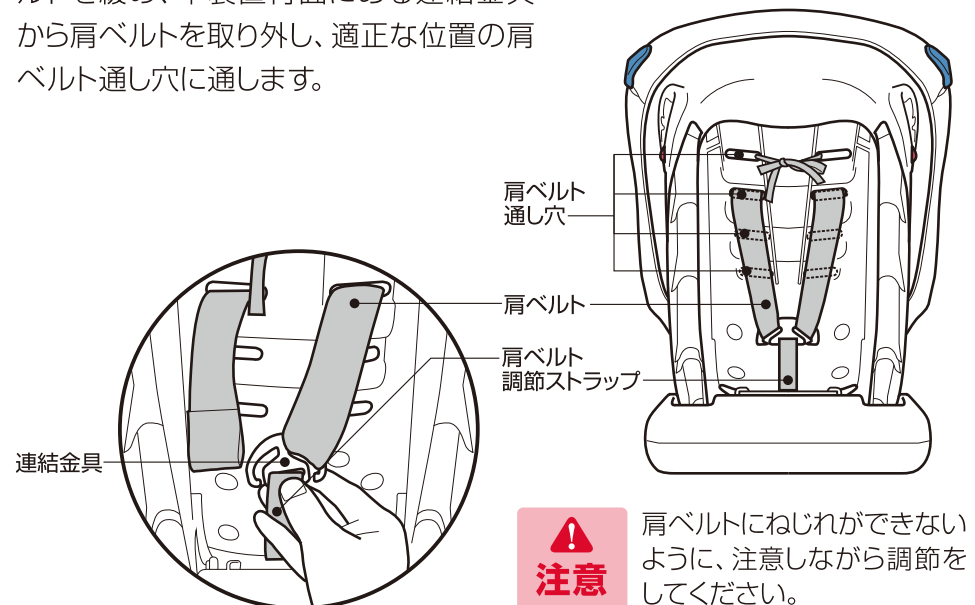
●調節する時は肩ベルトを緩めてからおこなってください。



肩ベルトの出口が、お子様の肩よりやや低い位置になるように調節します。



肩ベルトの位置を変更する場合は、肩ベルトを緩め、本装置背面にある連結金具から肩ベルトを取り外し、適正な位置の肩ベルト通し穴に通します。



注意

肩ベルトにねじれができないように、注意しながら調節をしてください。



# ベビーシート(後ろ向き)としての使い方

## 取り付け方

〈後席左側での取り付け例〉

### ●取り付け作業前にスペースの確保

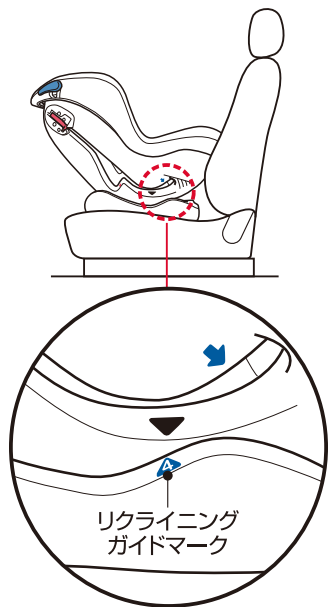
後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前の座席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置または車両の『取扱説明書』で指示されている位置に戻してください。



1

リクライニングガイドマーク(▲4)に合わせてください。

車両の進行方向に対し、後ろ向きに本装置を置き、車両の背もたれと隙間がなく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

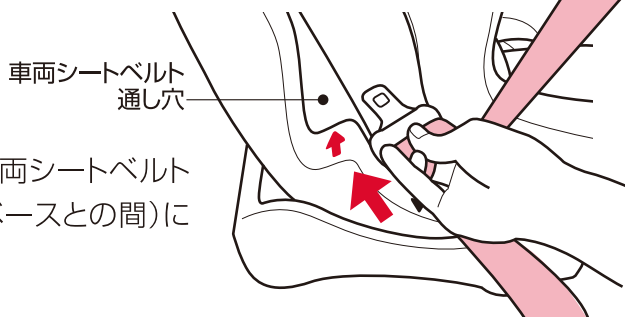


**警告** エアバッグ装備の助手席には絶対に取り付けしないでください。

**注意** 本装置と車両の背もたれ・座席との間に隙間がないようにする。

2

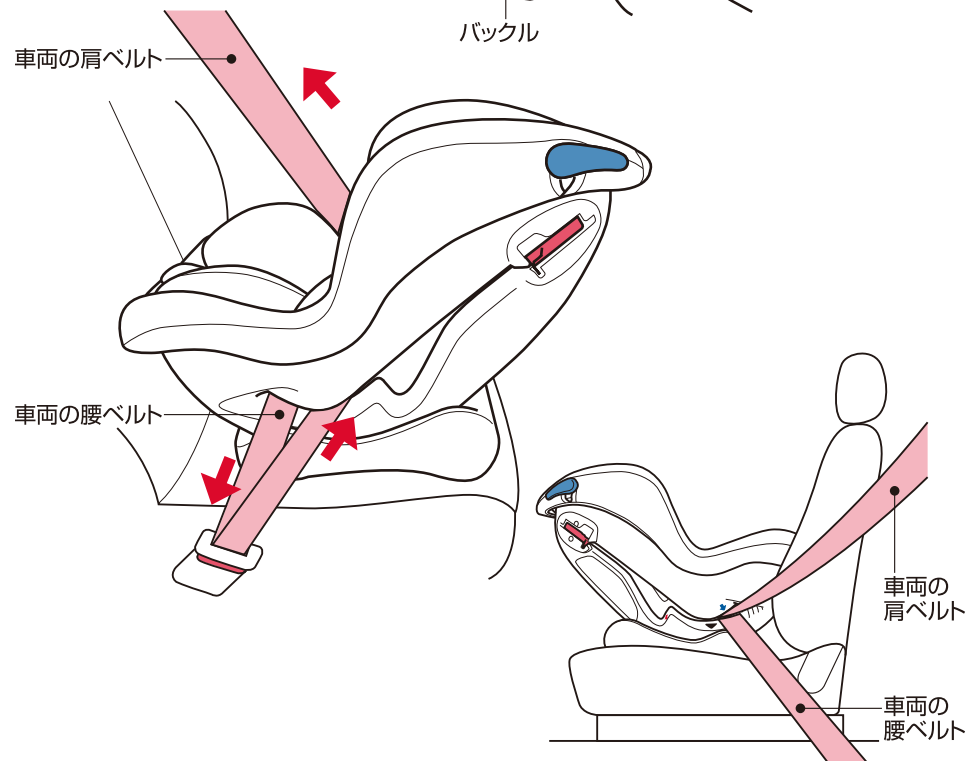
車両のシートベルトを、車両シートベルト通し穴(本装置の本体とベースとの間)に通します。



3

反対側の車両シートベルト通し穴から手前に引き出した車両のシートベルトを、バックルにセットします。

バックルにセットした後、肩ベルトを引っ張り本装置を車両の座席に押し付け、腰ベルトを締め付けます。



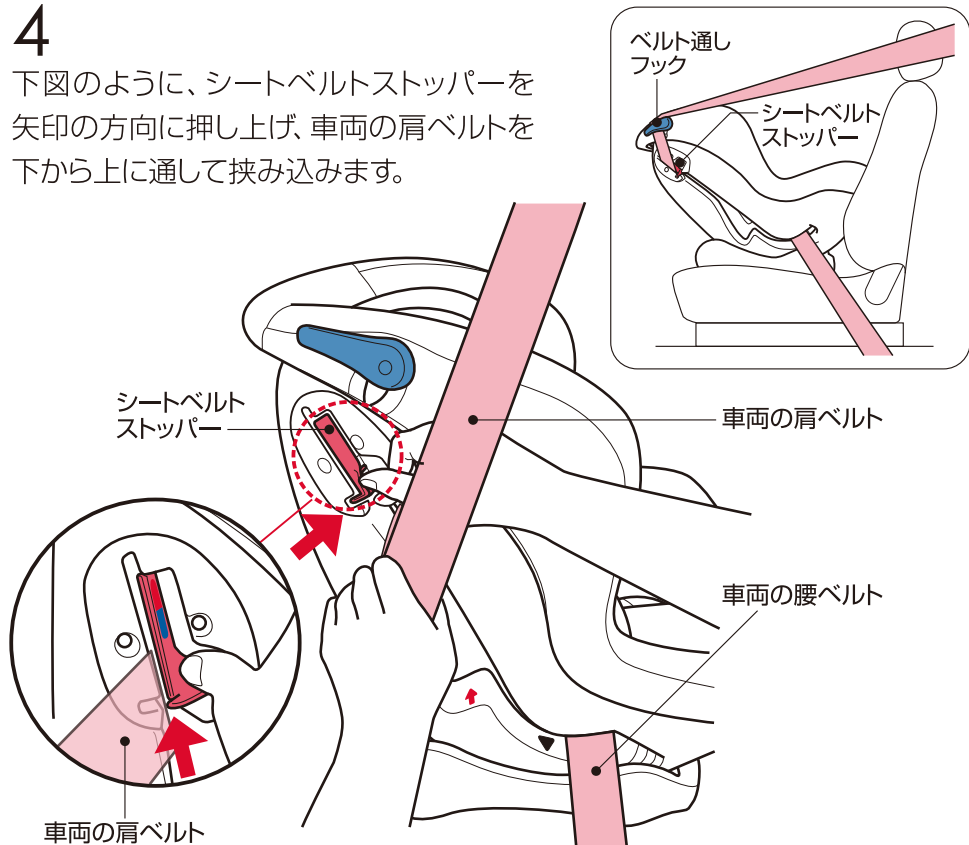
# ベビーシート(後ろ向き)としての使い方

## 取り付け方

〈後席左側での取り付け例〉

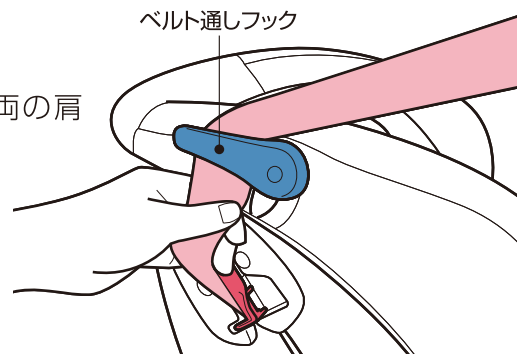
4

下図のように、シートベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトを下から上を通して挟み込みます。



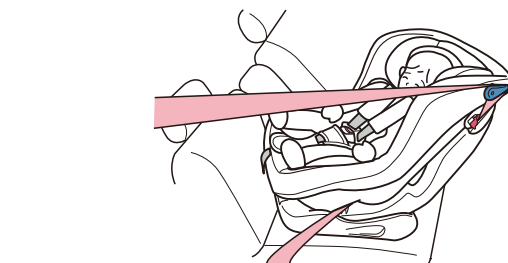
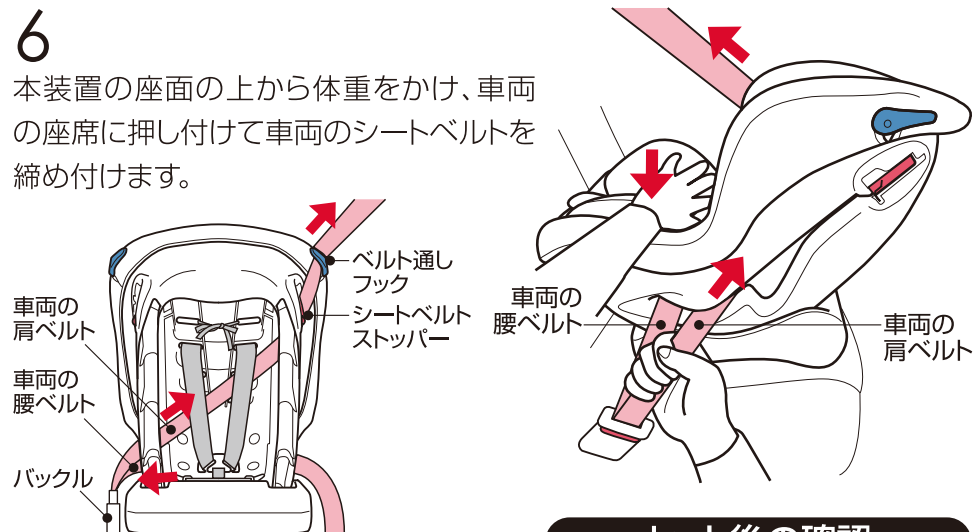
5

本装置のベルト通しフックに、車両の肩ベルトを通してください。

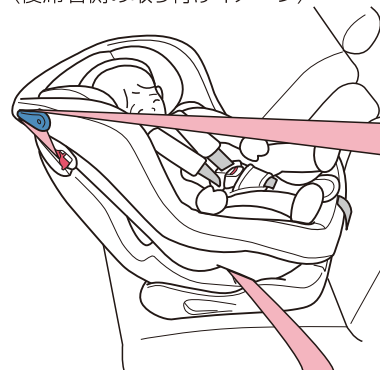


6

本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けて車両のシートベルトを締め付けます。



〈後席右側の取り付けイメージ〉



〈後席左側の取り付けイメージ〉

## セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれやたるみがないこと。
- 車両のシートベルトが、ベルト通しフック・シートベルトストッパーに確実にかかっていること。
- 本装置を前後に揺すって、ぐらつきがなく安定していること。



上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。



車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調整して、再度取り付けてください。

# チャイルドシート(前向き)としての使い方

## 取り付け方

〈後席左側での取り付け例〉

### ●取り付け作業前にスペースの確保

後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前の座席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置または車両の『取扱説明書』で指示されている位置に戻してください。

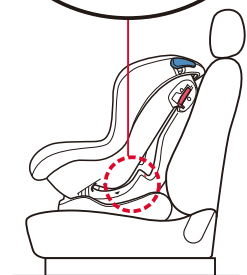
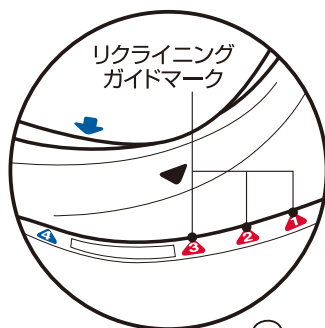


1

リクライニングガイドマーク(▲1~3)に合わせてください。

車両の進行方向に対し、前向きに本装置を置き、車両の背もたれと隙間がなく接していることを確認してください。

また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



警告

エアバッグ装備の助手席には絶対に取り付けしないでください。



注意

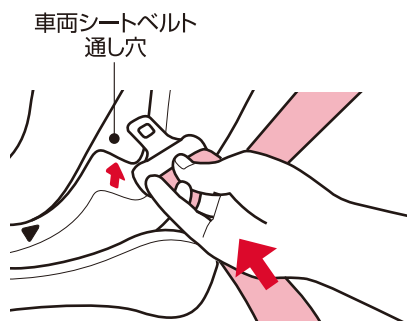
本装置と車両の背もたれ・座席との間に隙間がないようにする。

補足

ヘッドレストが干渉する場合は、上げるか取り外してください。

2

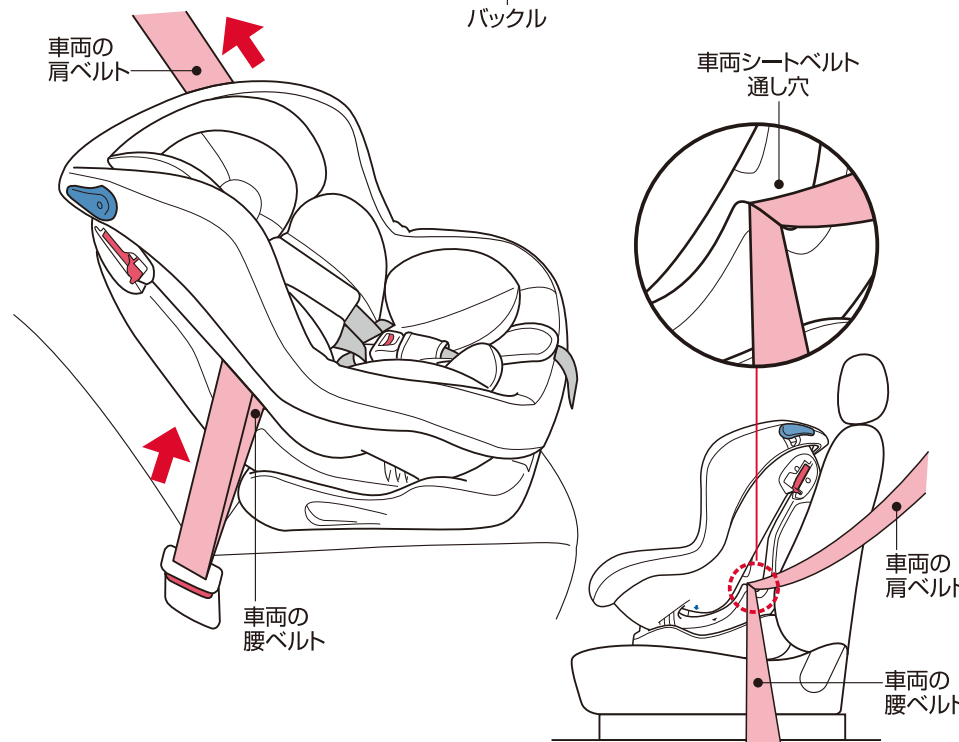
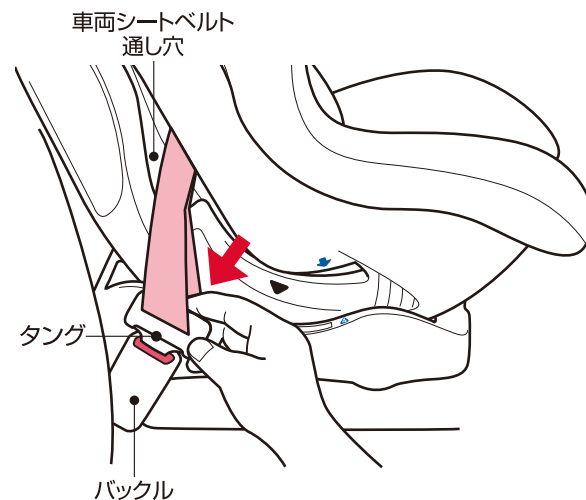
車両のシートベルトを、車両シートベルト通し穴(本装置の本体とベースとの間)に通します。



3

反対側の車両シートベルト通し穴から手前に引き出した車両のシートベルトを、バックルにセットします。

バックルにセットした後、肩ベルトを引っ張り本装置を車両の座席に押し付け、腰ベルトを締め付けます。



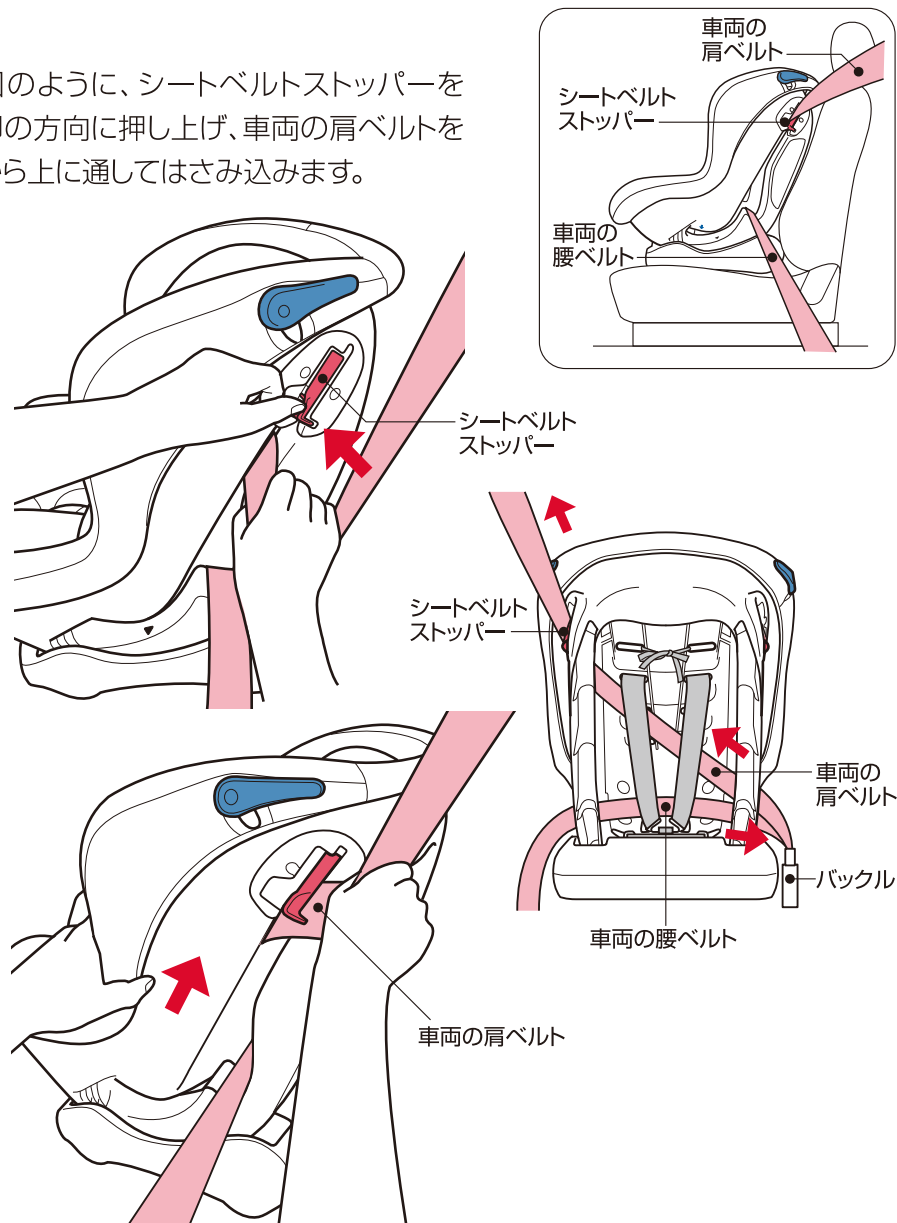
# チャイルドシート(前向き)としての使い方

## 取り付け方

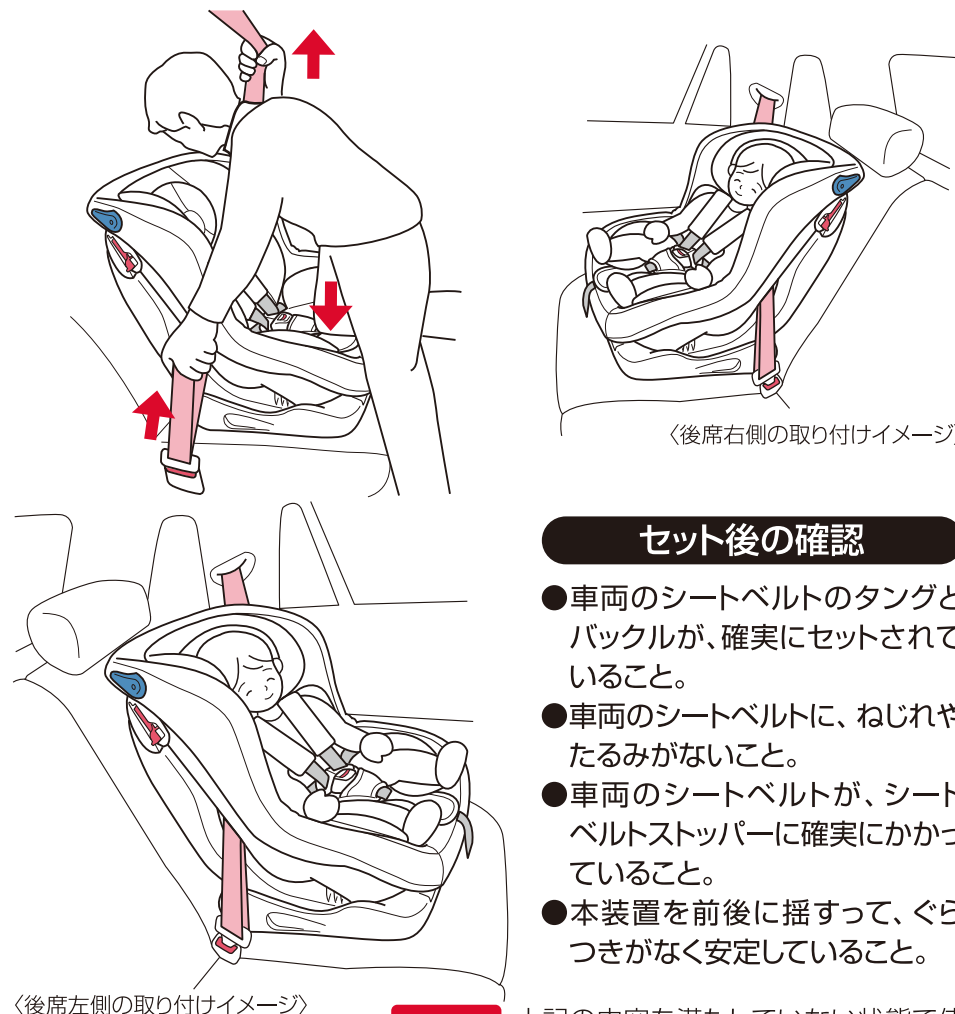
〈後席左側での取り付け例〉

### 4

下図のように、シートベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトを下から上に通してはさみ込みます。



21



〈後席右側の取り付けイメージ〉

〈後席左側の取り付けイメージ〉

### セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれやたるみがないこと。
- 車両のシートベルトが、シートベルトストッパーに確実にかかっていること。
- 本装置を前後に揺すって、ぐらつきがなく安定していること。



上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。



車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調整して、再度取り付けてください。

22

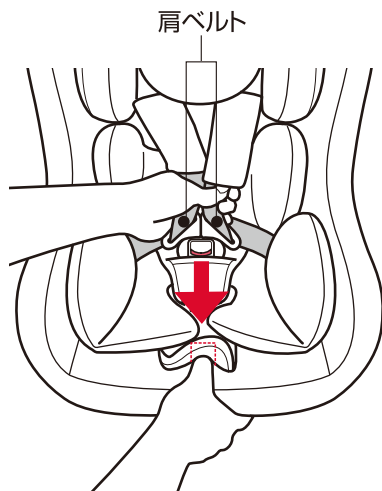
# お子様の乗せ方・降ろし方

## お子様の乗せ方

●本書P2「ご使用いただけるお子様の目安」を参照して取り付け向きを確認し、お子様に合わせて着座スペースを確保して取り付けてください。

1

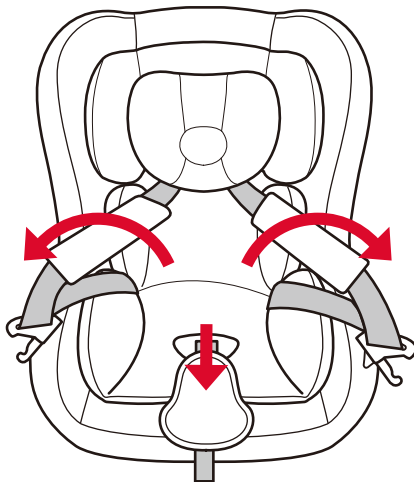
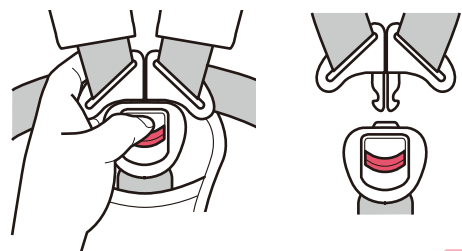
肩ベルト調節金具をしっかり押しながら、左右の肩ベルト（肩ベルトパットの下側）のみを持って手前に引っ張り、肩ベルトを緩めます。



2

バックルパットを引き下げ、バックルボタン（赤いボタン）を押して、タングをバックルから解除します。

肩ベルトを左右に開き、バックルを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。



**注意**

左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

3

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせます。

左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。

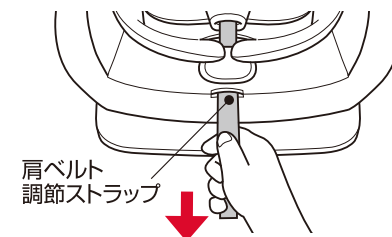


4

腰ベルトに緩みのないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って肩ベルトを締め、お子様を拘束します。

**警告**

バックルが確実に固定されていることを、必ずご確認ください。



**注意**

肩ベルトにねじれができないように、また指をはさまないように十分注意してください。タングの接合部に強い力を加えると破損するおそれがあります。

肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

**補足**

調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

## お子様の降ろし方

●肩ベルト調節金具を押して肩ベルトを緩めます。バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。

お子様の腕を肩ベルトに引っかからないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

# お手入れのしかた

## 取り外し方

### ●肩・腰ベルト・肩ベルトパット・インナークッションを取り外す

肩ベルト調節金具を押しながら左右の肩ベルト(肩ベルトパットの下側)のみを持って、手前に引いて肩ベルトを緩めます。

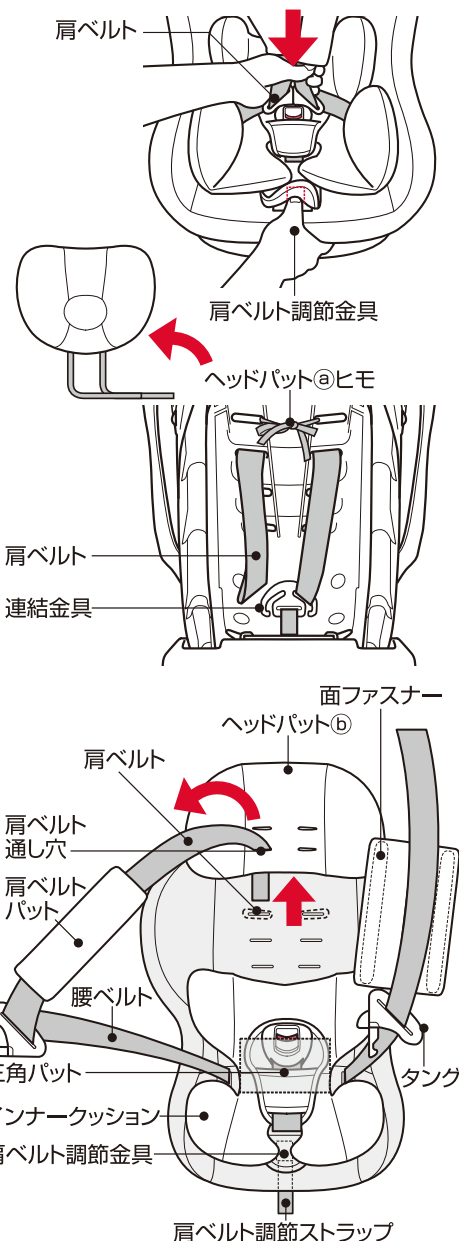
ヘッドパット⑥は、背面のヒモをほどいて取り外します。

肩ベルトを連結金具から外します。

肩ベルトパットは、面ファスナーを引き離して取り外します。本体カバー・ヘッドパット⑥の肩ベルト通し穴から、肩ベルトを引き出します。

肩ベルトからタングを外し、肩・腰ベルトを本体から引き抜きます。

インナークッション、三角パットを取り外します。

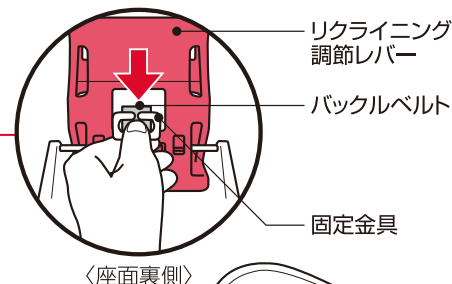
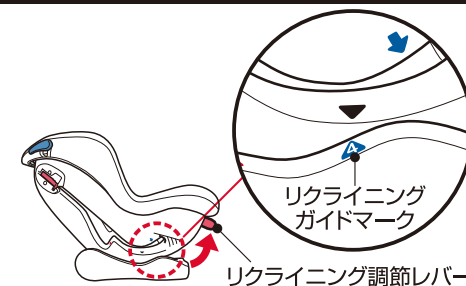
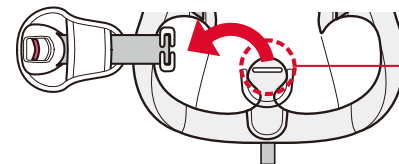


**注意** 肩ベルト調節ストラップは、肩ベルト調節金具から引き抜かないでください。

### ●バックルを取り外す

リクライニング調節レバーを持ち上げながら本体をスライドさせ、リクライニングガイドマークを「▲4」の位置にします。

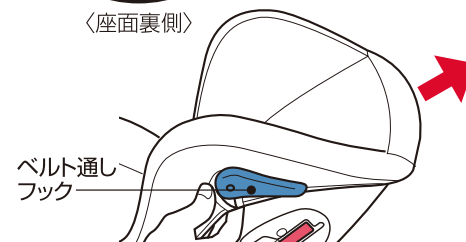
リクライニング調節レバーの奥にある固定金具・バックルベルトを座面表側に押し出して、バックルを取り外します。



〈座面裏側〉

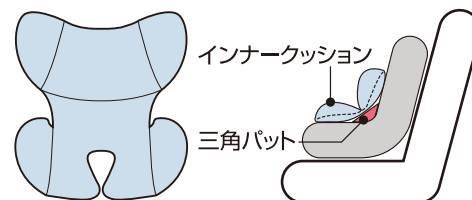
### ●本体カバーを取り外す

ベルト通しフックから本体カバーを引き抜き、取り外します。



## インナークッションのご使用について

- 7kg未満のお子様は、インナークッションをご使用ください。
- 取り外してよい条件は7kg以上(6ヶ月頃)で、腰と首がすわっていること。
- ベルトがきつい場合は、インナークッション裏側にある三角パットを抜いてください。(お子様の位置が下がり、ベルトにゆとりができます。)

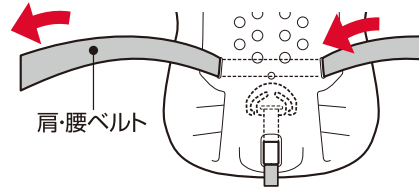


# お手入れのしかた

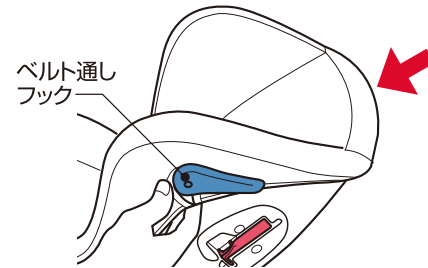
## 取り付け方

### ●本体カバーを取り付ける

本体に肩・腰ベルトを通します。

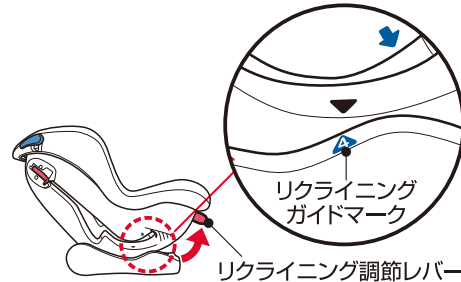


本体カバーに肩・腰ベルトを通し、ベルト通しフックに通してから取り付けます。

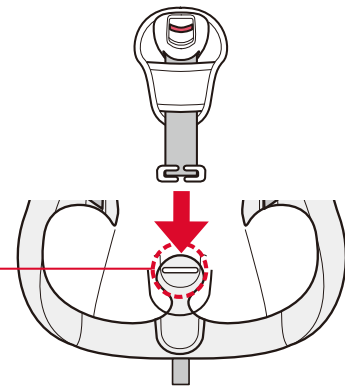
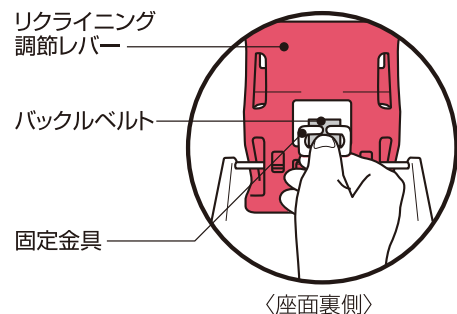


### ●バックルを取り付ける

リクライニング調節レバーを持ち上げながら本体をスライドさせ、リクライニングガイドマークを「▲4」の位置にします。



バックルベルトにバックルパットを通し、バックルベルトの固定金具を、座面裏側に押し込んでバックルを取り付けます。

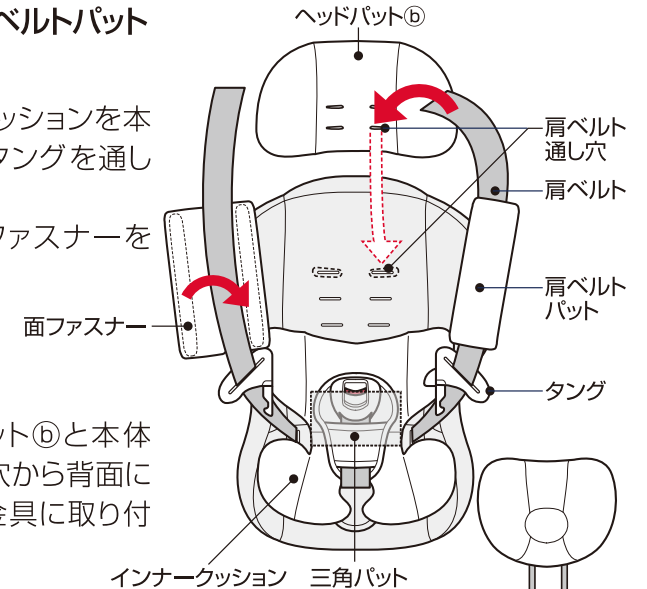


〈座面裏側〉

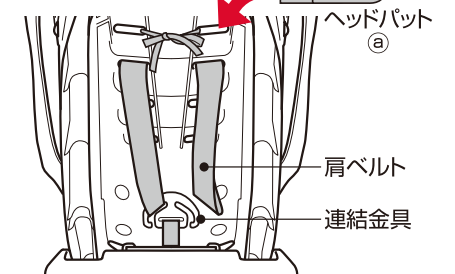
### ●インナークッション・肩ベルトパット・タングを取り付ける

三角パット・インナークッションを本体に置き、肩ベルトにタングを通します。

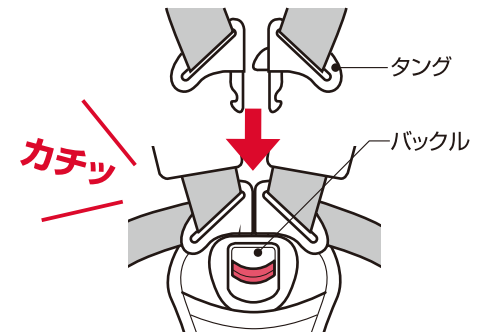
肩ベルトパットは、面ファスナーを合わせて取り付けます。



肩ベルトを、ヘッドパット⑥と本体カバーの肩ベルト通し穴から背面に通し、肩ベルトを連結金具に取り付けます。



ヘッドパット⑨をヘッドパット⑥と本体カバーの肩ベルト通し穴から背面に通し、ヒモで結んで取り付けます。

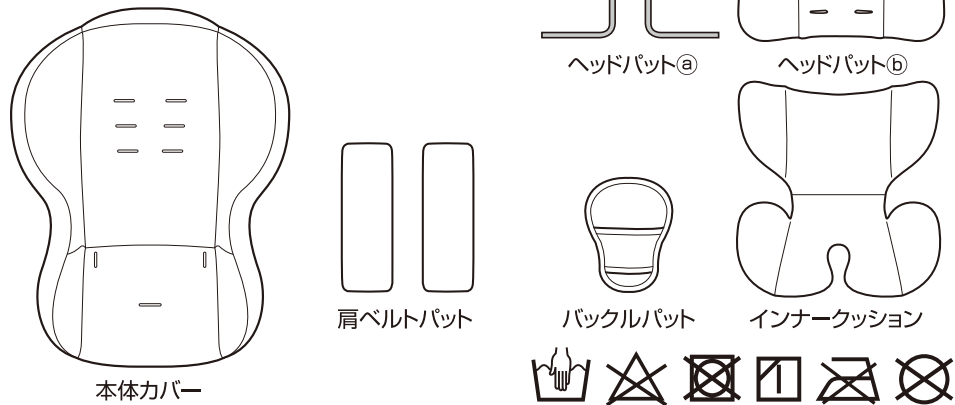


左右のタングを合わせ、バックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、バックルパットを引き上げます。

# 各部のお手入れ

## カバー・パット・クッション

- 中性洗剤を使い、手洗いしてください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- アイロンがけはしないでください。



## 本体・ベルト・バックル等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。

